

市政に対する 一般質問

12月定例会では21名の議員が、市政全般にわたって市の考えをたしました。内容は一般質問を行った各議員からの寄稿で掲載しました。

中島 清一 議員 5 ページ

- 1. 市長の政治姿勢について
- 2. 環境問題について

本多 了一 議員 5 ページ

- 1. 市長の政治姿勢について
- 2. 市民の生活と健康を守る課題について
- 3. 花園町の下水道対策について

田辺 博 議員 6 ページ

- 1. 福祉について

渡邊 雄三 議員 6 ページ

- 1. 在宅老人配食サービス事業について
- 2. 住宅用防犯警報器設置状況について
- 3. 行財政改革の推進

樋浦 恵美 議員 7 ページ

- 1. 安心の子育て、少子化対策について
- 2. 教育環境の整備について
- 3. 子宮頸ガン予防ワクチン接種の助成について

齋藤 廣吉 議員 7 ページ

- 1. 本市の特別職の報酬について
- 2. 国上の道の駅周辺の施設について
- 3. 保育園、幼稚園、小中学校の統合計画はあるか
- 4. 市内遊休地の早期売却を

大原 伊一 議員 8 ページ

- 1. 23年度予算編成方針について
- 2. 農業政策について

埜 豊 議員 8 ページ

- 1. 平成23年度予算編成について
- 2. 独居老人対策と空家対策について
- 3. 教育問題について

小林 由明 議員 9 ページ

- 1. 市長の政治姿勢について
- 2. 教育について

齋藤 信行 議員 9 ページ

- 1. 燕市学力向上シンポジウムについて
- 2. ICT活用の事業について

渡邊 広宣 議員 10 ページ

- 1. 教育の具体的振興策について
- 2. 事務事業の総見直しについて
- 3. 産業の振興・育成策について

土田 昇 議員 10 ページ

- 1. 平成23年度予算編成と重点政策について
- 2. 平成22年度(本年度)の予算執行状況について
- 3. 国土調査に係る訴訟の判決結果について
- 4. 116号線吉田バイパスについて
- 5. 吉田南小学校の跡地利用について

山崎 雅男 議員 11 ページ

- 1. 市長の政治姿勢と来年度予算編成について
- 2. 学校・家庭・地域の役割について
- 3. 農業情勢について

中山 眞二 議員 11 ページ

- 1. 産業について
- 2. 給与について
- 3. 幼保について
- 4. まちづくり基本条例について

タナカ・キン 議員 12 ページ

- 1. 市政功労者に表彰式について
- 2. 交通公園について
- 3. 大河津分水さくら公園について
- 4. 文化振興対策について
- 5. 職員の適正配置について
- 6. 磨き屋一番館について
- 7. 選挙運動と公職選挙法について
- 8. 国土調査に対する市の対応について

齋藤 紀美江 議員 12 ページ

- 1. 子育て・子育て支援について
- 2. 男女共同参画社会実現への取り組みについて

丸山 吉朗 議員 13 ページ

- 1. 市長は品格をどのように理解されているか
- 2. 吉田南最終処分場跡地利用について
- 3. 新庁舎周辺の整備計画と新庁舎にLEDランプの使用を
- 4. 中学生の夏休み職場体験学習について

長井 由喜雄 議員 13 ページ

- 1. 子どものインフルエンザ予防接種について
- 2. 子育て支援について
- 3. 介護保険について
- 4. 非核平和都市宣言の更なる具体化について
- 5. 燕市の非正規職員の待遇改善について

阿部 健二 議員 14 ページ

- 1. いま必要なのは新庁舎か？はたまた、特養か？
- 2. 燕市が第2の夕張市に？
- 3. 一つの産業が一つのまちを作り、一つの産業の衰退で一つのまちが消える
- 4. 産業しかない？燕の地場産業
- 5. 仕事が減れば人口も…人口が減れば個人市民税も交付税も減る
- 6. やつぱり、燕市が第2の夕張市に…
- 7. 世はまさに少子高齢化社会
- 8. それでも新庁舎建設か？

中島 義和 議員 14 ページ

- 1. 農業、農政について
- 2. 排水路整備について
- 3. 跡地の利活用について

田村 善典 議員 15 ページ

- 1. 市政運営について
- 2. 特養待機者と雇用問題

(一般質問の通告順に掲載)



中島 清一 議員 旭日会

現政権に対する市長の評価はいじめ根絶に向けての本市の対応は

問① 政権交代当時の期待感とその後の実績について市長の評価は。

答① 政権交代に期待はしたが、十分な実績が上がっていない。

問② 子ども手当について市長の評価は。

答② 子育てが家計の大きな負担になっており、経済的な支援ということでは一定の評価もできるが、地方に負担を転嫁していることや保育料、給食費の未納問題がある一方で支給されていることは公平などに問題がある。現物給付に偏り過ぎていて、全体的な視点に欠けており、多くの問題を抱えている制度である。

問③ 群馬県桐生市で、小学校6年生の女子児童がいじめを苦に自殺するできごとが起きた。県からの指導や本市におけるいじめの実態や対策は。

答③ 県からはこれまでの取り組みが実際に児童生徒の心に届いているのか、有効に機能しているのか再点検の指導があった。本市におけるいじめは昨日の9日現在、小学校で11件、中学校で7件だが、各学校とも適切に対処し、解決に至っている。関係する児童生徒については継続的に見守っていくことにしている。

問① 政権交代当時の期待感とその後の実績について市長の評価は。

答① 政権交代に期待はしたが、十分な実績が上がっていない。

半世紀にわたって続いた自民党政治への閉塞感や既得権にメスを入れてほしい、何かを変えてほしいという世論を背景に国民から大きな期待を受けて誕生した現政権だが、財源の手当てが不明確な中、バラマキ的な政策が多く不安を感じた。地域主権の確立、地方自主財源の大幅な拡充などを掲げた点は期待した。

しかし、マニフェストに掲げた政策も思うように進んでいない。年金、医療、社会保障の将来、景気、雇用など政権には今後これらの課題に取り組

問② 子ども手当について市長の評価は。

答② 子育てが家計の大きな負担になっており、経済的な支援ということでは一定の評価もできるが、地方に負担を転嫁していることや保育料、給食費の未納問題がある一方で支給されていることは公平などに問題がある。現物給付に偏り過ぎていて、全体的な視点に欠けており、多くの問題を抱えている制度である。

問③ 群馬県桐生市で、小学校6年生の女子児童がいじめを苦に自殺するできごとが起きた。県からの指導や本市におけるいじめの実態や対策は。

答③ 県からはこれまでの取り組みが実際に児童生徒の心に届いているのか、有効に機能しているのか再点検の指導があった。本市におけるいじめは昨日の9日現在、小学校で11件、中学校で7件だが、各学校とも適切に対処し、解決に至っている。関係する児童生徒については継続的に見守っていくことにしている。



元気に登校(吉田南小学校の児童たち)



本多 了一 議員 日本共産党議員団

高い国民健康保険税の引き下げを求める

問① 来年度の予算編成で市長の姿勢を聞きたいと思う。鈴木市長が初めて手掛ける予算編成で、

答① 平成23年度予算編成は財政状況が非常に厳しい中で私にとって本格的な予算編成となる。予算編成に当たっては所信表明の際に上げた産業の振興、未来の燕を担う子どもたちの育成、医療福祉の充実などの各事業に重点的に取り組むたいと考えている。

問② 県央地域の救命救急センターの設立について市は現在どのようなところまで話しが進んでいるのか。燕市としてはどういう姿勢でこれに臨んでいるのか聞きたい。

答② 県央地域の病院の医師確保が非常に難しいという状況がある。現状をふまえた中で医師がしっかりと確保できる体制の救命救急センターでありそ

問① 来年度の予算編成で市長の姿勢を聞きたいと思う。鈴木市長が初めて手掛ける予算編成で、

答① 平成23年度予算編成は財政状況が非常に厳しい中で私にとって本格的な予算編成となる。予算編成に当たっては所信表明の際に上げた産業の振興、未来の燕を担う子どもたちの育成、医療福祉の充実などの各事業に重点的に取り組むたいと考えている。

問② 県央地域の救命救急センターの設立について市は現在どのようなところまで話しが進んでいるのか。燕市としてはどういう姿勢でこれに臨んでいるのか聞きたい。

答② 県央地域の病院の医師確保が非常に難しいという状況がある。現状をふまえた中で医師がしっかりと確保できる体制の救命救急センターでありそ





田辺 博 議員 無所属

特養の在宅待機者310名 今の施設で救護できるか

問① 今、燕市では特養入所待機者664名。うち在宅待機者310名。特に要介護4、5の方102名。今の施設で救護できるか。ご家族の心労は大変なものと思うが。

答① 小規模多機能型居宅介護、登録25名、小規模特別養護老人ホーム定員29名、認知症高齢者グループホーム定員18名で対応し、在宅で特養待ちの方310名すべてを救護することはできないが、72名の方はサービスを受けることができる。

はあったか。
答② 直接窓口では聞いていない。認定後のサービス利用が制限されることの説明や、介護保険料の納付計画の相談等を実施しながら、介護認定後に介護サービスができるように努めている。

て市民平等の立場から手を差し伸べるべきと思うが。
答④ 介護施設の入所費用は施設の種類により、医療関係スタッフが多くの施設は介護保険費用が高く設定されている。施設の目的や提供するサービスにより費用が違ってきている中で、行政が手を差し伸べることはできない。

問② 全国的に介護保険料を納めないため、介護を受けたくても受けられない人、また、1割負担が払えないため我慢している人が増えているが、燕市ではこのような相談を受けることができるか。

答③ 福祉課窓口では相談事例はない。地域包括支援センターへの相談が多くなってきた。

問④ 特養以外に入所されている方と特養入所者との利用料金が10万円以上の差がある。行政として



特別養護老人ホーム「さわたりの郷」



渡邊 雄三 議員 公明党議員団

安心・安全 住宅用火災警報器の設置を！

問① 在宅老人配食サービスを始めた経緯と、合併後の推移はどうなっているのか。サービスを受ける資格基準は何か。一人暮らし老人や高齢者だけの世帯が増える中、サービス受け入れはどこまで可能か。今後も配食サービスは続けていくか。

ためにも必要で今後とも継続したい。
問② 来年6月から住宅用火災警報器設置が義務付けられるが、市内の設置状況はどうか。どうやって100%設置を目指していくのか。所得に応じた公費助成も考えられないか。



答① 食の見守りとしてボランティアで実施された年度スタートの介護保険事業と合わせて介護予防支援の一つとなり、18年でそれは廃止されたが、合併の制度調整で継続とし、対象要件を改正して現在に至っている。70歳以上の高齢者のみの世帯で、全員が要介護支援の認定を受けている人などを対象としている。

答② 住宅用火災警報器は、燕・弥彦総合事務組合でリーフレットを配布し、機会があることに調査している。11月現在での設置率は38%。自治会と連携した地域での共同購入による設置も考えている。助成は65歳以上の高齢者のみの世帯で、主たる所得者の前年所得税が非課税で認知症を要件に助成しているが、住宅リフォーム助成の対象になるので周知したい。

問③ 市長が重点施策の一つに挙げる無駄を排除した効率的、効果的な行政運営とあるが、職員の高質の向上など職員教育をどう行っているのか。
答③ 就任から7カ月が過ぎて事務事業の見直しを指示し、現状を把握して目標を定め、新しい方向で行くことを言ってきた。意識も徐々に変わってきた。



樋浦 恵美 議員 公明党議員団

安心の子育て・少子化対策・子宮頸がん予防ワクチン助成について

問① 病後児保育の実現に向けて、現段階での状況は。子どもの通院医療費助成の対象年齢の引き上げを考えると、特定不妊治療費の助成を新年度予算において前向きに検討していきたい、と伺っているがどこまで進んでいるのか。

が、財源確保を含めて検討している。
問② 吉田小学校の現地改築に伴い、同じ敷地内にある吉田学校給食センターや吉田中央保育園の移転が必要だと思われるが、市の考えは。食育推進計画の策定は、どこまで進んでいるのか。

定に向け施策の検討を行うっており、市でも国に沿ったものにする必要があり検討委員会を立ち上げ、来年度に策定したい。
問③ 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を早急に実現できないか。
答③ 課題もあるが、来年1月以降に速やかに実施できるよう準備を進めている。

答① 病後児保育は、県内の先進地を視察し関係者と協議を重ね、施設整備や専門職の配置、運営経費などの課題を整理して、実現に向けて検討している。子どもの通院医療費助成は、市独自に制度を拡大することも大きな課題となっていると認識している。財源確保等の見直しも含め検討していきたい。特定不妊治療費の助成は、新年度予算の編成作業を行っている

答② 吉田学校給食センターは、稼働から27年を経過し老朽化も進んでおり、吉田小学校の改築に合わせて、移転先も財源も含めて検討している。吉田中央保育園は、耐震補強が必要なほか、老朽化が進み、増築するスペースもなく別の場所への移転が望ましい。改築に合わせて吉田小学校前の土地を求めて、移転改築を考えている。食育推進計画は、国が次期計画策



検診とワクチン接種でほぼ100%予防できる



齋藤 廣吉 議員 鴻鶴クラブ

燕市での特別職の報酬額は 20市の中での順位はどうか

問① 報酬額の順位は。また、その額を市長はどう認識されておられるか。
答① 議長は18位、副議長18位、議員16位、市長17位、教育長19位です。毎年開催されている特別職報酬審議会でのいろいろなことを考慮して決定する。昨年の審議会の答申の中で「本市のさらなる発展と、議員活動の活性化は欠かせない。そのため、しっかりと仕事のできる環境を整い、優秀な人材が立候補できるように報酬額の引き上げを検討する」という付帯意見が付いているので、1月に行われる審議会ではいろいろな意見を提案して十分審議されると思う。

たい。
問③ 今すぐ指定管理ができなければ道の駅周辺は4課に別れておって不便である。1課に統一できないか。
答③ 窓口の一本化を考えた。
問④ てまりの湯は福利厚生施設であるが希に見る黒字経営である。そこに働いている職員の賃金のアップはできないか。
答④ 臨時職員の賃金は決まっているのでそれは難しい。職員表彰によって勤労意欲を増進したい。
問⑤ 不況による税収不足を補うために遊休地を早期に売却すべきでないか。
答⑤ 市のホームページや広報等を活用しながら積極的に売却に向けて努力している。

問② 道の駅周辺の指定管理導入を考えておるか。
答② 今後前向きに考える



道の駅国上にある足湯「酒呑童子の湯」



大原 伊一 議員 旭日会

23年度予算編成方針・行財政改革と本市農業の経済効果について

でいきたい。

問① 23年度予算編成方針で、商工の新たな取り組みや重点施策と、市民生活に直接かかわる予算配分について。

答① 23年度予算は、国地方とも大変厳しい財源状況である。事務事業の見直し、優先順位を付けた施策の重点化などを図りながら財源を確保していきたい。

商工関係については、これまでの新商品新技術開発への助成に加えて、中国市場も含めた市場開拓支援、首都圏企業とのマッチング、医療機器、新エネルギー分野への参入を目的とした研究会の開催。また、来年は金属洋食器を燕で製造開始から100周年に当たることから、記念の年を核にして産業観光へも取り組ん

でいきたい。

学校教育・福祉などの市民生活に直接関わるものについては、市民とのふれあいトークや各種団体からいただいた要望等を踏まえて予算案を作成したい。

問② 行財政改革の方針について。

答② 経常収支比率は、改善されてきており、財政の硬直化を脱しつつある。そんな中でも新市建設事業の進捗による公債費の増加・扶助費の自然増も見込まれる。施設の統廃合・事務事業の見直しを図り、財政の健全化に努めていきたい。

問③ 市内農家が負担している排水負担金は、約2億6800万円、農家がボランテアで行っている農道の草刈りや用排水

路の管理など、本市農業の経済効果の額と新たな農業政策はあるのか。

答③ 農道の草刈りや、用排水路の管理を年2回市が行った場合、農道の草刈りで約3700万円、用排水路の管理に2億1400万円が見込まれる。



埴 豊 議員 旭日会

人口減少と高齢化社会に 対応できる市政を

問① 23年度国家予算が、燕市の予算作成に与える影響について。歳出の総枠を71兆円以内にすることや、21年度末に緊急経済対策として7兆円を超える補正予算が策定されることにより、23年度事業の一部がこの予算に乗れたことで22年度事業が前倒しとして使えたこと、児童手当の増加分に対する財源問題など不安要素ばかりであること。さらに、22年度末の起債残高が354億円であり21年度末に比べ27億の増加であり、起債の中心が普通債が13億減少したにもかかわらず、交付税措置のあるその他の起債が40億も増加していることは、起債制限比率は低下しても経常収支比率が高まり財政の硬直化が

避けられないと考える当局の考えを聞きたい。

答① 23年度予算では市の主要な財源である市税の減少が予測され厳しい予算編成と思われ、事務事業の見直しによる経費削減、事業の重点化の対応が必要と考える。また、単年度だけでは解決されない意味合いもあり、中長期的には定員適正化や施設の統廃合の検討、投資的経費の抑制を進め、後年度負担の増加をできるだけ回避して財政の安定化を図りたい。

問② 一人暮らしの高齢者と空き家対策について。中心市街地では特に一人暮らしの高齢者を多く見かける。中心市街地では間口が狭く奥行きが長い家ばかり、土地価格は低迷、解体費用は高く壊す

に壊せない状況が増えていると考えるが防災、防犯面での取り組みについて考えを聞きたい。

答② 平成20年度の住宅土地統計調査によれば、住宅総数2万8540戸であり、一般住宅用空き家1380戸、さらに老朽化または破損しているもの770戸となっている。



高齢者の皆さんが参加する「敬老会」



小林 由明 議員 旭日会

来年度予算、市民活動、教育関連について

問① 来年度予算に係る、産業振興などの融資・助成金について、お考えを伺いたい。

答① 国の交付金等の活用を検討していきたい。また、国、県の補助金を活用いただけるよう、情報収集とその周知に努めたい。

問② 自主防災組織の活性化について、具体的な推進策があるか伺いたい。

答② 各種防災、避難訓練の開催、防災資機材購入助成などの既存事業のほか、新規事業として防災リーダー講習会を検討している。また、消防団が地域の構成員であることから、平時においては、相互に連携を深めて地域防災力の向上に努めたい。

問③ 市民の気分を盛り

上げる良いアイデアを伺いたい。

答③ 燕は一つプロジェクトみたいなものを考えられないか、若手職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、既に最終段階にきているので、新年度には事業化できないものか考えている。

問④ 本年度設置しないこととなった、市内幼保の冬季風除けについては、建物の形状等によっては、園児、保護者、職員にとって大変重要な設備と認識しており、現場の状況にはもう少し配慮

したい。削減を図るため、今年度から設置しないこととし

た。



燕市立図書館

風除けを当初より設置していなかった園と同様の対応をしていく。

問⑤ 図書館の休館日について、特定の曜日が休日の職業があることなどに留意し、1カ月のうち特定の曜日がすべて休館とならないよう配慮いただきたい。

答⑤ 月曜定休が定着してきた感があるが、読書活動推進とよりよい図書館運営に資するためにも、図書館協議会に諮り検討させていただきたい。



齋藤 信行 議員 大河の会

学力シンポジウム開催後の今後の燕市の取り組みとICT活用について

問① 生活リズムの確立と、家庭・地域の役割として、心の燕市8つのチャレンジに通じるものがあるが取り組みについてお伺いしたい。

答① 豊かな心を育む上で子どもにぜひ身に付けさせたいと考えており、実践指針として家庭・地域で推進して、次世代の燕市を担う心豊かでたくましい燕市の子どもたちを育んでまいりたいと考えております。

問② 学力向上に体育の授業での体力の向上が関係あるのではないかと

考えています。日常的に体を動かしていれば、早寝早起きといった生活習慣が身に付きやすく、体の調子が良くなり、それが学習意欲の向上にもつながる等の見解がございます。運



答② 学力向上に体育の授業での体力の向上が関係あるのではないかと考えています。日常的に体を動かしていれば、早寝早起きといった生活習慣が身に付きやすく、体の調子が良くなり、それが学習意欲の向上にもつながる等の見解がございます。運

動をすることで培われる体力、気力、集中力等は、勉強にも必要なものであると考えます。

問③ ICT活用と今後ほかの学校への対応も併せてお伺いしたい。

答③ ICTの活用により児童生徒に具体的なイメージを持たせ、興味、関心を引きつけ集中させることができるなどの指導における効果が報告さ

れている。今後ほかの学校への対応は、財政状況にかんがみ毎年度数校ずつ整備を進めていきたい。

問④ 地域の学校に対する交流の場を吉田南小学校の地域支援本部が行っている放課後の学習室を例にお伺いしたい。

答④ 吉田南小、吉田小のように進んでいる所もあるが、研修会、情報交換を進め先進的な学校の取り組みを各学校で取り組んでまいりたい。

問⑤ NRT(学力テスト)の結果を各学校で分析し示すことで地域の学校への連携支援ができるのではないかと



タナカ・キン 議員 無所属

トイレが無いままオープンする 1万5千坪の『さくら公園』

問① 合併前は議場で行われていた市政功労者の表彰式が、合併後は文化センター3階ホールで行われている。この会場では功労者に対し敬意を払う気持ちが感じられない。会場を文化会館に移せないものか。

答① 文化会館では広過ぎると考えている。来年度以降は表彰を含め見直した中で、規模に合った会場で実施していく。

問② 交通公園について。子どもたちに交通ルールやマナーを教える場所は、道路の白線も消えかかっている。ゴーカートやモノレールもよいが、こういう所こそしっかり整備すべきだが。

答② 毎年市内等の保育園児に対し交通安全教室を行っている。現地を確認したので、来春の開園までに対処していく。

問③ 「調理具と器から歴史をたどる」をテーマに燕三条遺跡展が開かれた。物づくりの燕市のルーツが見られ、当時の生活の様子をうかがい知ることができた。これらの品物を常設展示できないものか。

答③ 23年度もこうした貴重な出土品を多くの方々に観ていただける工夫とともに、産業資料としての価値が発揮できる常設展示の方策を検討していきたい。

問④ 来春オープンする大河津分水さくら公園のトイレについて。

答④ 現在、交通公園に設置してある仮設トイレを新管理棟のトイレが23年度中に公共下水道に接続しだい、さくら公園に移設する。

問⑤ 職員の適正配置について。先日辞任した柳田法務大臣は法務行政において素人同然だった。合併後の部課長人事で、それまでほとんど経験したことのない部署に配属された部課長は。

答⑤ 平成19年度から22年度では、部長級の職員数は3名、課長級は7名。



大河津分水さくら公園工事現場

問⑥ 児童館は子どもたちが育つための居場所として、地域全体で子育てをする拠点としての重要な役割を果たしていると思うが認識はどうか。秋葉町児童クラブは芋洗いの状況で、体を使っている遊びは利用時間を制限して交代制をとっている。児童クラブに入れない子どもたちは、集団遊びやさまざまな体験活動に参加できる機会が限定されており、日常的な遊びの場が保障されていないことになる。児童数が増えているこの地域に児童館が必要ではないか。

答⑥ 児童館は放課後の子どもたちの居場所として子どもたちの健やかな育ちや子育て中の親への支援、地域のこどもたちの育ちや子育て環境を考えていくための拠点としての機能も求められ大切なものであると認識している。杉名児童館を来年度改築することにした。西燕児童館・白山町児童館・こども森を利用してほしい。

問⑦ 燕市では「燕市男女共同参画推進プラン」が策定され取り組みが進捗状況はどうか。「女と男ふれあいフエスタ」が実施されている。今年の基調講演ははじめをテーマにしており大変有意義だったが、燕の課題を話し合うなどの取り組みも必要ではないか。女性の幹部職員は男性43人に対して二人となっている。登用率向上や政策決定の場への参加を促すための取り組みはどうか。女性団体と市長との懇談会は議場で女性模

答⑦ 燕市では「燕市男女共同参画推進プラン」が策定され取り組みが進捗状況はどうか。「女と男ふれあいフエスタ」が実施されている。今年の基調講演ははじめをテーマにしており大変有意義だったが、燕の課題を話し合うなどの取り組みも必要ではないか。女性の幹部職員は男性43人に対して二人となっている。登用率向上や政策決定の場への参加を促すための取り組みはどうか。女性団体と市長との懇談会は議場で女性模



公園での楽しい昆虫観察



齋藤 紀美江 議員 旭日会

子どもたちが育つための 地域の拠点として児童館は重要

問① 児童館は子どもたちが育つための居場所として、地域全体で子育てをする拠点としての重要な役割を果たしていると思うが認識はどうか。秋葉町児童クラブは芋洗いの状況で、体を使っている遊びは利用時間を制限して交代制をとっている。児童クラブに入れない子どもたちは、集団遊びやさまざまな体験活動に参加できる機会が限定されており、日常的な遊びの場が保障されていないことになる。児童数が増えているこの地域に児童館が必要ではないか。

答① 児童館は放課後の子どもたちの居場所として子どもたちの健やかな育ちや子育て中の親への支援、地域のこどもたちの育ちや子育て環境を考えていくための拠点としての機能も求められ大切なものであると認識している。杉名児童館を来年度改築することにした。西燕児童館・白山町児童館・こども森を利用してほしい。

問② 燕市では「燕市男女共同参画推進プラン」が策定され取り組みが進捗状況はどうか。「女と男ふれあいフエスタ」が実施されている。今年の基調講演ははじめをテーマにしており大変有意義だったが、燕の課題を話し合うなどの取り組みも必要ではないか。女性の幹部職員は男性43人に対して二人となっている。登用率向上や政策決定の場への参加を促すための取り組みはどうか。女性団体と市長との懇談会は議場で女性模

答② 男女共同参画推進懇話会では、女性の登用率向上につながる意識啓発に向けた職員研修の継続の必要性や、各課の事業では再掲事業が多いなど指摘された。第二次プランの策定に取り組み、意識啓発事業については、生涯学習課等と連携し取り組みを進めたい。



丸山 吉朗 議員 大河の会

新庁舎周辺の開発、 整備計画について

問① 新庁舎周辺の開発、整備について。

答① 燕市都市計画マスタープランに基づき計画的に進めていく。当該地は利便性が高く、市民に親しまれる新たな都市の核として公共施設、および必要最低限の生活利便施設の集積を図る基幹公共施設のゾーンとして位置付け、大規模小売店舗の立地を抑制することにより中心市街地の商業施設や新庁舎周辺の良好な土地利用などに配慮している。また、当該地へのスーパー、ホテルなどの有無については、現在具体的な計画は聞いていない。

問② 新庁舎でのLEDランプの利用は照明全体の何%くらいを考えているか。

答② 現段階では新庁舎の延べ床面積および外構の必要部分、これらに対するLED照明の適用面積ということになると20%という想定をしている。また、多少建設費が膨らむかもしれないが、後々のランニングコストを考えたとき地球環境を考えたときに許容できる事業費の増なのかどうかその辺を見極めた上で最終判断をしていきたい。

問③ 吉田最終処分場跡地利用について、今まだ利用構想が白紙ならば太陽発電の施設を提案したい。

答③ 跡地利用についてはそろそろ具体的な検討に入るべき時期にきているのではないかと認識している。今、全国的にエネルギーパーク構想がある。いろんな視点



新庁舎建設用地

問④ 再生可能エネルギーというものを地域でやったときに、ただ単に産業用にすることはなく観光機能と学習機能と付加した中で運営していく、そんな動きもある。全国的な動き、そして最終処分場の土地利用の性格というのを含めた上で少し研究を始めてみたい。

問⑤ 公立8園、私立1園の門前で「子育てアンケート」をお願いし、73通の返信があった。医療費助成について「中学生まで」の拡大を望む声は41人、56%。「小学校卒業」までは24人、33%だった。寄せられた声は「なぜ3人以上いると対象になるかわからない。不公平な扱いだと感じている」。また3人以上いる親は「ほかの親から差別という目で見られるのが不安だ」と書いている。2人の親は「アトピーと喘息を持っていて1カ月に何万円もかかるから切ない」。3人いる方では「3人とも喘息で毎日薬を飲まなければなりません。助成がないと1人に5,6000円かかるのでありがたいです」と書いている。来年

問⑥ 公立8園、私立1園の門前で「子育てアンケート」をお願いし、73通の返信があった。医療費助成について「中学生まで」の拡大を望む声は41人、56%。「小学校卒業」までは24人、33%だった。寄せられた声は「なぜ3人以上いると対象になるかわからない。不公平な扱いだと感じている」。また3人以上いる親は「ほかの親から差別という目で見られるのが不安だ」と書いている。2人の親は「アトピーと喘息を持っていて1カ月に何万円もかかるから切ない」。3人いる方では「3人とも喘息で毎日薬を飲まなければなりません。助成がないと1人に5,6000円かかるのでありがたいです」と書いている。来年



長井 由喜雄 議員 日本共産党議員団

新年度から「小学6年生まで」 全員対象に医療費助成拡大を

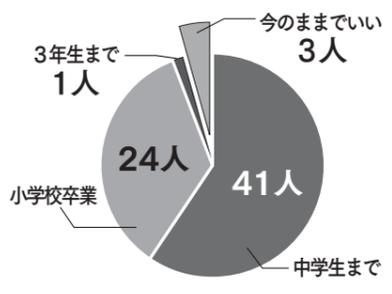
問① 公立8園、私立1園の門前で「子育てアンケート」をお願いし、73通の返信があった。医療費助成について「中学生まで」の拡大を望む声は41人、56%。「小学校卒業」までは24人、33%だった。寄せられた声は「なぜ3人以上いると対象になるかわからない。不公平な扱いだと感じている」。また3人以上いる親は「ほかの親から差別という目で見られるのが不安だ」と書いている。2人の親は「アトピーと喘息を持っていて1カ月に何万円もかかるから切ない」。3人いる方では「3人とも喘息で毎日薬を飲まなければなりません。助成がないと1人に5,6000円かかるのでありがたいです」と書いている。来年

問② 合併後の燕市は2006年12月に「非核平和都市宣言」を行った。さらなる宣言の具体化についてはどうか。

問③ 臨時職員の時給を改善すべきだ。交通費の正規職員との格差についても是正すべきでないか。

答③ 20市の事務補佐員時給は中位で特に低いと考えない。交通費は正規職員との不均衡が生じていることも事実。国の「賃金指針」を受け、予算内での改善を検討したいと考えている。

Q 通院助成の拡大を 望みますか？





阿部 健二 議員 無所属

市民がいららない新庁舎よりも 市民のほしいという特養を

問① 市は参酌基準をいう国のせいで特養がつくれないような言い方を続けてきたが、その参酌基準がなくなるにつけ、早速特養建設に取り掛かってほしい。新庁舎も特養も大事だと言いつつながら、市長は、特養をつくる気があるのか、ないのか。

8・8%の実態失業率を表面上5%台にとどめ

ているのは雇用調整金のおかげで、その期限が切れたとたん(仕事を求める人たちの市外流出で)燕市の人口激減は目の前である。地場産業の衰退を食い止めるのは…。

鳥取県庁が交付税措置のある起債(合併特例債など)の返済時には、その起債分が一般交付税から引かれると言っているが、その「落とし穴」に気付かず合併特例債が有利だと思いついたのは過去であり、その過去を捨てなければ、市長の言う日本一かがやくまち燕市はできないのでは…。

答① 特養をつくる気があるのかどうかについては、第四期(介護保険)計画での参酌基準が一定の制約になっており、その中で少しでも介護の苦

労をされている方々のために小規模多機能やグループホームなどを整備しているところで、第五期計画においては特養建設も含めて国の動きを注視しながら具体化するため、今議会に、そのニーズ調査の補正予算をお願いしているところである。

人口激減に対する危機感については、非常に厳しい経済状況の中、やはり産業の活性化が最重要課題で、APECでのチタンのマグカップのような、よそではできない高付加価値の商品をいくつも作れる地域にしていきたいと思っている。

新庁舎の必要性は十分納得しており、私は過去をしっかりと引き継いだ上で新しい未来をつくってみたいと思っている。



問① 日本は、FTA自由貿易協定にこれまで関与を避けてきた。アメリカおよびアメリカ経済界からの強い要請の中で、TPP経済連携協定に向けて関係国と協議に入る旨、閣議決定がなされた。近い将来加入となれば10年以内に例外なく関税撤廃・関税自由化が明記されている。一番影響を受けると思われる農

業の生活基盤をどのように構築していくのか、国・県の施策を注視していかなければならぬ。

知事は、県議会答弁の中でリーマンショックで輸出が35兆円・設備投資25兆円、計60兆円の打撃として伝わったと述べた。農業の影響だけでなく、国益を考えて議論すべきとの考えを示した。貿易立国の日本が自由市場を閉ざす方向で本当に生きていけるのかと指摘。これまでは食糧安全保障の観点から主食用米を関税撤廃対象から除外するよう求め、認められなければ交渉から撤退してEPAやFTAに移行すべきだとしていた。知事の突然の方向転換を市長はどのような受け止めておられるか。

答① 知事から直接伺っ

ているわけではないので、多分いろいろな前提がある中での話なので早計のコメントは差し控えさせていただきます。

TPPへ参加ということは本当に悩ましい問題である。貿易で成り立ってきた国で、仮にTPPに参加しないということになると、日本の産業がグローバルに展開する生産あるいは流通の世界的なネットワークから脱離し日本企業における生産拠点の海外流出を加速させることにもなりかねない。ものづくり産業が多く集積する燕市にとって非常に大きな影響を与えることになる。

農業の国際競争力強化のための対策を何もとらないままTPPに参加すれば大きな打撃をこうむる。



田村 善典 議員 鴻鶴クラブ

日本一輝くまちづくりの流れの中 日々の生活にも希望の光を…

問① 選挙戦の中、県内ではこれ以上の人材もいないと思われる来賓各位を迎えた吉田産業会館での市長候補予定者発言と、市長発言は違うのか。

答① 発言にまったく不一致はなく、一生懸命その発言に基づきいろんな形でサポート役を務めている。

問② ぜひとも応援したいプロジェクトはどうなったのか。

答② 地域産業の主役は企業や事業者であり、その方々の方向性が定まらない。県と連携を図り、見守りたい。

問③ 救命救急センター併設の県中央基幹病院の設置場所を吉田ふれあい公園にできないか。また、基幹病院開院後は廃院の空きベッドを利用し、特養待機者受け入れ施設と

することで介護士等の雇用が生まれると思うがどのように考えるか。

答③ 今、議論されている救命救急センターおよび併設病院等のあり方検討会議への影響があることから、また、廃院を前提とする提案にはお答えを控えていただきたい。

問④ あり方検討会議では、市長の考え自体が燕市の意思なのかどうなのか。現状では加茂市の意志が強く働いているように思えるが。

答④ 基本的に燕、三条の医師会と歩調を合わせ、医師が確保できる体制の構築が必要であると一貫して主張している。

問⑤ 富士重工との企業連携を図りたい話も1年以上経過したが、その後どうするつもりか。



新潟市民病院

答⑤ 改めて吉田商工会の方々とどんな取り組みや方法があるのか、意見交換を再度行いたい。

問⑥ 産業振興の星として登場した市長も7カ月経過したが、市民に希望の光を。

答⑥ 産業の活性化を最重要点に、教育を含めた子育て環境に私のカラーを出すよう、予算編成に向け政策協議中である。



中島 義和 議員 大河の会

燕市におけるTPP (環太平洋戦略的経済連携協定)

問① 日本は、FTA自由貿易協定にこれまで関与を避けてきた。アメリカおよびアメリカ経済界からの強い要請の中で、TPP経済連携協定に向けて関係国と協議に入る旨、閣議決定がなされた。近い将来加入となれば10年以内に例外なく関税撤廃・関税自由化が明記されている。一番影響を受けると思われる農

業の生活基盤をどのように構築していくのか、国・県の施策を注視していかなければならぬ。

知事は、県議会答弁の中でリーマンショックで輸出が35兆円・設備投資25兆円、計60兆円の打撃として伝わったと述べた。農業の影響だけでなく、国益を考えて議論すべきとの考えを示した。貿易立国の日本が自由市場を閉ざす方向で本当に生きていけるのかと指摘。これまでは食糧安全保障の観点から主食用米を関税撤廃対象から除外するよう求め、認められなければ交渉から撤退してEPAやFTAに移行すべきだとしていた。知事の突然の方向転換を市長はどのような受け止めておられるか。

TPPへ参加ということは本当に悩ましい問題である。貿易で成り立ってきた国で、仮にTPPに参加しないということになると、日本の産業がグローバルに展開する生産あるいは流通の世界的なネットワークから脱離し日本企業における生産拠点の海外流出を加速させることにもなりかねない。ものづくり産業が多く集積する燕市にとって非常に大きな影響を与えることになる。

| 件名 | 審議結果 | 採決状況 |
|------------------------------------|------|------|
| 平成22年第3回臨時会(平成22年11月30日) | | |
| 燕市職員の給与に関する条例等の一部改正について | 可決 | 賛成多数 |
| 燕市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について | 可決 | 全会一致 |
| 燕市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について | 可決 | 全会一致 |
| 平成23年第1回臨時会(平成23年1月26日) | | |
| 平成22年度燕市一般会計補正予算第9号 | 可決 | 全会一致 |

臨時会の議決結果

請願の審査結果

12月定例会に提出された請願は6件でした。このうち3件は総務文教常任委員会、産業建設常任委員会にそれぞれ付託審査し、最終日の本会議で採決されました。

| 採 択 | 継続審査 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 地域間格差を拡大する「地方委譲」に反対し、一般国道116号の直轄継続と事業促進を求める請願書(請願者) 国土交通省全建設労働組合北陸地方本部 北陸技術支部長 横山則夫 米価の大暴落に歯止めをかけるための請願(請願者) 農民運動新潟県連合会 代表 今井 健 「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願(請願者) 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美 | <ul style="list-style-type: none"> 地域を支える建設業の健全化に向けた「公契約法(条例)」の制定を求める請願書(請願者) 国土交通省全建設労働組合北陸地方本部 北陸技術支部長 横山則夫 TPPの参加に反対する請願(請願者) 農民運動新潟県連合会 代表 今井 健 TPP交渉参加反対に関する請願書(請願者) 越後中央農業協同組合 代表理事組合長 吉田博之 |